

## 『アメリカ史研究』自由投稿原稿の執筆要項

『アメリカ史研究』編集委員会

### 投稿のジャンルと審査について

自由投稿の原稿は、「論文」、「研究ノート」、「研究動向」の3つのジャンルに大別して募集しています。ジャンルごとに分量の制限があり、「論文」は400字詰め原稿用紙に換算して80枚程度、「研究ノート」は50枚程度、「研究動向」は35枚程度（いずれも図表や註などを含めて計算する）となっています。ただし、完成原稿提出の際には、本誌の体裁に準じて、それぞれのジャンルを明記のうえ、次のような要領で提出してください。いずれも図表や註などを含めた分量です。

論 文： 43字×38行×19枚以内

研究ノート： 43字×38行×12枚以内

研究動向： 43字×38行×9枚以内

規定の枚数を明らかに超えているものについては審査の対象外とさせていただきますので注意してください。また、註については「註の記述に関するお願い」を参照してください。

提出いただいた原稿は、編集委員会内部の委員および外部レフェリーによって審査され、編集委員会の責任において採否を決定することになります。決定までには1ヵ月半ほど時間がかかりますが、決定次第ご連絡を差し上げます。なお、不採用となった場合でも提出いただいた原稿は返却いたしませんので、ご了承ください。

投稿原稿はジャンルごとに設定された異なる審査基準に従って審査されます。以下、その概要をお知らせしますので、原稿執筆の参考にしてください。

#### (1) 「論文」

ひとつのテーマを掘り下げた実証研究については、まずこのジャンルへの投稿を考えて下さい。このジャンルでは、原稿が「論文」として要求される形式面および論理構成面での基準を満たしているかどうか、史料の扱い方が適切であるかどうか、また既存の研究に対する独自性があるかどうかの3点に則して審査が行なわれます。したがって、そのテーマについての研究史を整理したうえで論文の課題を明確に設定すること、論拠を明確に示すこと、史料の解釈やデータの分析を適切に行なうこと、結論に至る論理の展開を明快にすること、類似のテーマに関する既存研究の中ですでに明らかにされていることに加えて著者独自のオリジナルな知見を含めることなどに留意して原稿を作成することが求められます。

#### (2) 「研究ノート」

このジャンルは、主として現在進行中の研究を公開するために設けられているものと解釈してください。たとえば、現在取り組んでいる研究の、研究史における位置づけや新たな展望を提起するというような原稿が期待されます。審査基準は、「論文」の場合に準じますが、「論文」の場合ほど研究の完成度は要求されません。

#### (3) 「研究動向」

特定のテーマについて近年の研究の流れを整理したり、今後の課題などを論じたりする文章は、このジャンルに投稿して下さい。ここでは、当該のテーマについての主要な研究成果を吟味すると同時に、著者の観点から、それらを評価・整理することが求められます。また、研究の進展によって明らかにされたことは何で、未解決のまま残されている課題は何かを指摘することが必要です。